

**平成29年度 文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラム
外部評価報告書**

「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革—死生学や地域包括ケアモデルを導入した医科歯科連携教育体制の構築—」事業

外部評価委員会委員長	恒石 美登里 先生	日本歯科医師会・日本歯科総合研究機構・ 主任研究員
-------------------	------------------	------------------------------

評価項目	5段階評価					良い	
	悪い	1	2	3	4		5
事業計画の妥当性	悪い	1	2	3	4	5	良い
計画に沿った成果を得られているか	悪い	1	2	3	4	5	良い
本プロジェクトに関連した業績は十分か	悪い	1	2	3	4	5	良い
事業費の使途に問題はないか	悪い	1	2	3	4	5	良い

総評（300字以内）

4年目を迎え、e-learning 講義システムがさらに補完されたということで、歯学部を超えて、連携大学での受講が進んでいると思われます。平成30年からは新しい診療報酬・介護報酬となり、口腔機能の維持・向上に向けて新技術等も導入されていく予定です。また、周術期口腔機能管理の対象範囲拡大や、栄養サポートの充実も図られています。卒前からこのような幅広い教育も求められ、この課題解決型高度医療人材養成プログラムの意義も高まるものと期待されます。歯科職種のみならず、様々な職種との連携はさらに重要と考えます。より多くの職種へ、食べる機能の重要性を周知することも重要と思われます。

**平成29年度 文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラム
外部評価報告書**

「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革－死生学や地域包括ケアモデルを導入した医科歯科連携教育体制の構築－」事業

外部評価委員会委員	菊谷 武 先生	日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック院長
------------------	----------------	--------------------------------

評価項目	5段階評価										
	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	5	良い
事業計画の妥当性	悪い	1	・	2	・	3	・	④	・	5	良い
計画に沿った成果を得られているか	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	⑤	良い
本プロジェクトに関連した業績は十分か	悪い	1	・	2	・	3	・	④	・	5	良い
事業費の使途に問題はないか	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	⑤	良い

総評（300字以内）

教育の場を在宅、施設または病院で実施できたことは、各属性の特徴を知り、どうかかわるか学ぶ上で有用である。また、教育手段においても、PBLやワークショップ、シュミレーター実習など教育手法を多く取り入れ、実践できたことは高く評価できる。

**平成29年度 文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラム
外部評価報告書**

「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革—死生学や地域包括ケアモデルを導入した医科歯科連携教育体制の構築—」事業

外部評価委員会委員	東口 高志 先生	藤田保健衛生大学医学部 外科・緩和医療学講座教授
------------------	-----------------	-----------------------------

評価項目	5段階評価						
	悪い	1	2	3	4	5	良い
事業計画の妥当性	悪い	1	2	3	4	⑤	良い
計画に沿った成果を得られているか	悪い	1	2	3	④	5	良い
本プロジェクトに関連した業績は十分か	悪い	1	2	3	4	⑤	良い
事業費の使途に問題はないか	悪い	1	2	3	④	5	良い

総評（300字以内）

本プロジェクトは、わが国が直面している高齢化に伴う医療・福祉・生活支援体制の強化に向けての大事業で、その妥当性は明確です。実施体制は年々充実しており、実績および業績は一段と研鑽が積みまれています。成果については、前回の問題点でありました死生観に関する取り組みを充実させ、より完成された人材養成プログラムになっておられます。医師との連携では、地域医療を担う在宅医の方々とは良い関係をお作りだと思われまます。今後の方向性として、急性期病院の医師との連携を期待したく④とさせていただきます。業績に関しては申し分ございません。結果として、素晴らしい人材育成体制が確立されているように感じております。

**平成29年度 文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラム
外部評価報告書**

「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革—死生学や地域包括ケアモデルを導入した医科歯科連携教育体制の構築—」事業

外部評価委員会委員	葛谷 雅文 先生	名古屋大学地域在宅医療学・老年科学分野 教授・未来社会創造機構教授
------------------	-----------------	--------------------------------------

評価項目	5段階評価										
	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	5	良い
事業計画の妥当性	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	5	良い
計画に沿った成果を得られているか	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	5	良い
本プロジェクトに関連した業績は十分か	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	5	良い
事業費の使途に問題はないか	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	5	良い

総評（300字以内）

各連携大学は各大学の地域性を生かした特色ある個々の取り組みができており、評価できる。また共通の教育資材の作成、連携シンポジウムの開催、学生交流が実施できており、連携体制が構築できている。特に学生の交流に関しては参加人数の多寡はあれ、よくできている。

大学によっては地域を利用した疫学研究が実施されており、できれば他大学においても学生にも何らかの研究に関与させることができると良い経験になると思う。学生交流は素晴らしいが、教官の相互視察は限られた大学間で行われており、連携大学全体の相互視察が実現できると良かった。

**平成29年度 文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラム
外部評価報告書**

「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革—死生学や地域包括ケアモデルを導入した医科歯科連携教育体制の構築—」事業

外部評価委員会委員	熊倉 勇美 先生	医療法人社団和風会 千里リハビリテーション病院・顧問 島根大学医学部歯科口腔外科学講座・臨床教授
------------------	-----------------	---

評価項目	5段階評価						
	悪い	1	2	3	4		5
事業計画の妥当性	悪い	1	2	3	4	(5)	良い
計画に沿った成果を得られているか	悪い	1	2	3	4	(5)	良い
本プロジェクトに関連した業績は十分か	悪い	1	2	3	4	(5)	良い
事業費の使途に問題はないか	悪い	1	2	3	4	(5)	良い

総評（300字以内）

平成29年度の事業計画の進展状況が理解出来ました。岡山大学において必修化された医療支援歯学教育コースワークが連携大学において開始され、不足する内容の e-learning 講義システムでの補完、また news letter の全国関連職種への配信が評価されます。関連職種については、言語聴覚士会も連携に加えていただければ有難いです。自己評価にも触れておられるように、岡山大学大学院医歯薬総合研究科教育功労賞の受賞は、本事業の何よりの功績のひとつと思います。医療支援歯学教育コースワークの均てん化に向けた一層の努力を期待します。事業費の使途については、適正に運用されたものと思います。